

鳥取県に「地震保険・感震ブレーカー普及啓発ポスター」を贈呈

～日本損害保険協会・大知専務理事と鳥取県・亀井副知事が防災に関する取組みで意見交換～

日本損害保険協会中国支部は、11月7日（木）、当協会・大知専務理事が鳥取県庁を訪問して、鳥取県・亀井副知事に、鳥取県と当協会中国支部の連名で作成した「地震保険・感震ブレーカー普及啓発ポスター」を200部贈呈しました。

鳥取県は、地震災害時の火災を防ぐ「住宅用火災報知器・感震ブレーカー設置」の普及を推進しており、本年7月9日、感震ブレーカーの有効性・必要性の周知・啓発をして普及を強力に進めるため、「鳥取県感震ブレーカー普及協議会」が発足しました。当支部は、同協議会のパートナー団体となっています。

同ポスター贈呈後の懇談では、大知専務理事と亀井副知事が、当協会が実施する防災関係事業の取組みや大知専務理事が委員を務めている防災資産などをテーマに意見交換が行われました。

当支部では、引き続き、鳥取県をはじめとした関係先との連携を強化して、地震や水災等自然災害による被害を補償する保険の普及啓発や防災に関する活動に取り組んでいきます。



大知専務理事から亀井副知事(右)にポスターを贈呈



亀井副知事(右)から御礼の挨拶



意見交換の様子



地震保険・感震ブレーカー普及啓発ポスター